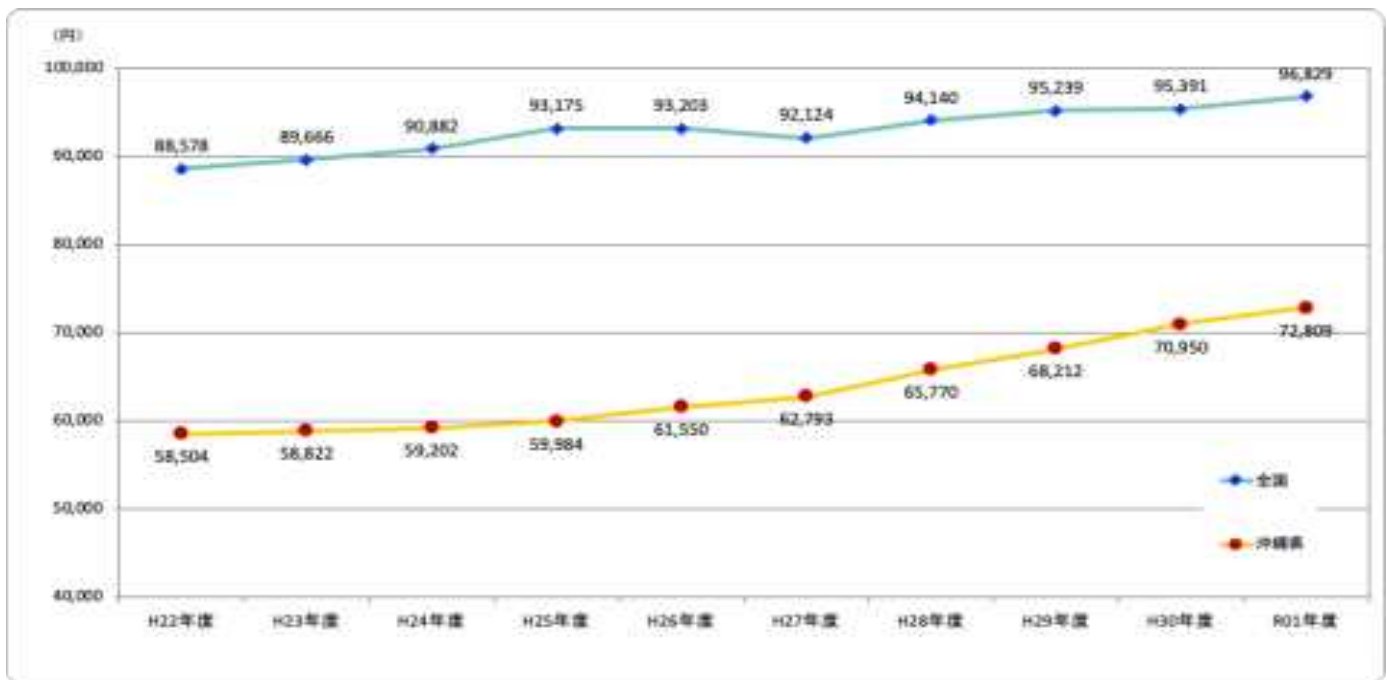


6 一人当たり保険料（税）調定額

- 令和元年度の一人当たり調定額(現年分)は、全国 96,829円 に対し、本県は 72,809円 と 24,020円 低くなっている。
- 一人当たり調定額は、本県、全国ともに平成22年度以降増加傾向にある。(図17)
- 本県の一人当たり調定額は、全国で最も低くなっており、全国第46位の 福島県の調定額 79,148円と比較しても 6,339円下回っている。(図18)
- 県内では、北大東村(96,150円)が最も高く、以下、多良間村(92,172円)、北谷町(83,743円)の順となっている。(図19)

図17 一人当たり保険料（税）調定額の推移（平成22年度～令和元年度）



(出所) 厚生労働省保険局「令和元年度国民健康保険事業年報」

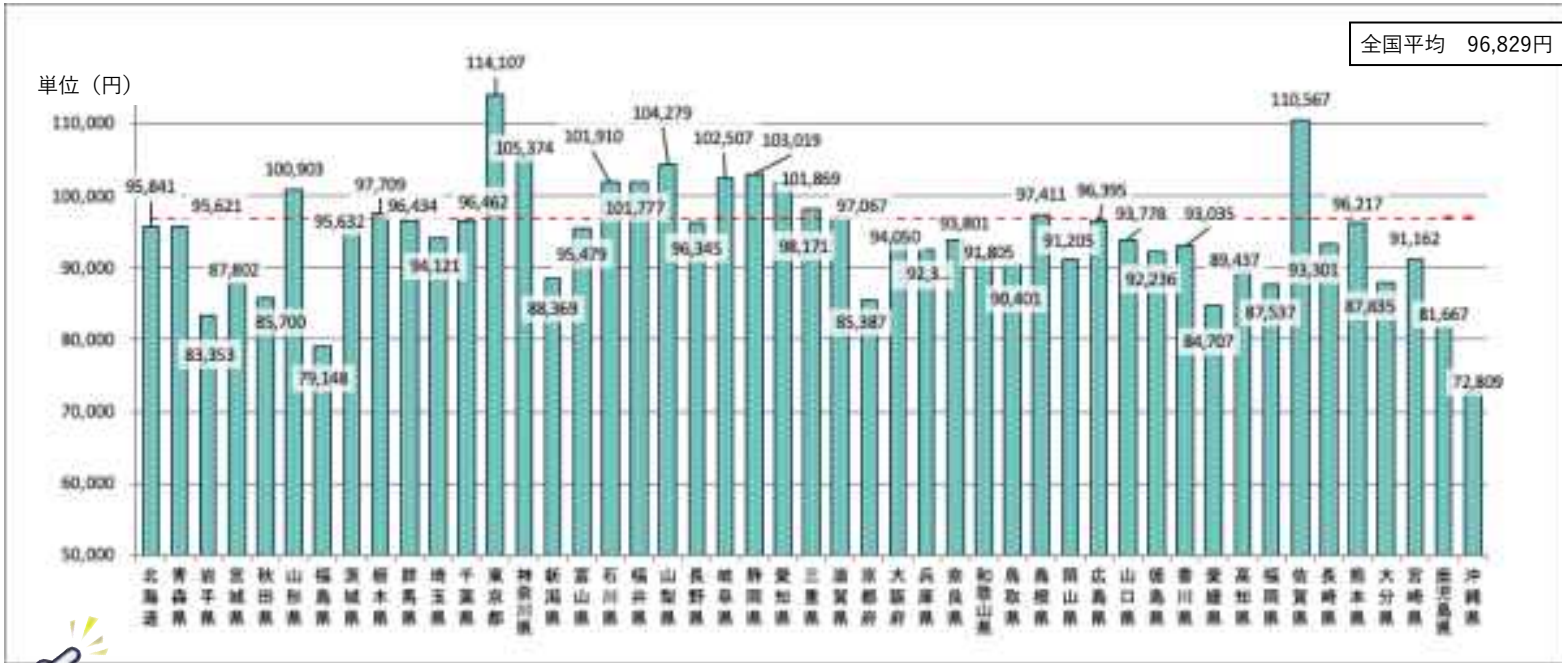
(参考) 本県の保険料（税）調定額（総額）と一人当たり保険料（税）調定額の推移



- 本県の保険料調定額の総額は、平成22年に比べ減少傾向にあるが、一人当たり調定額は保険料率の引き上げ等により増加傾向にある。

図18

一人当たり保険料（税）調定額（令和元年度・都道府県別）



全国平均 96,829円

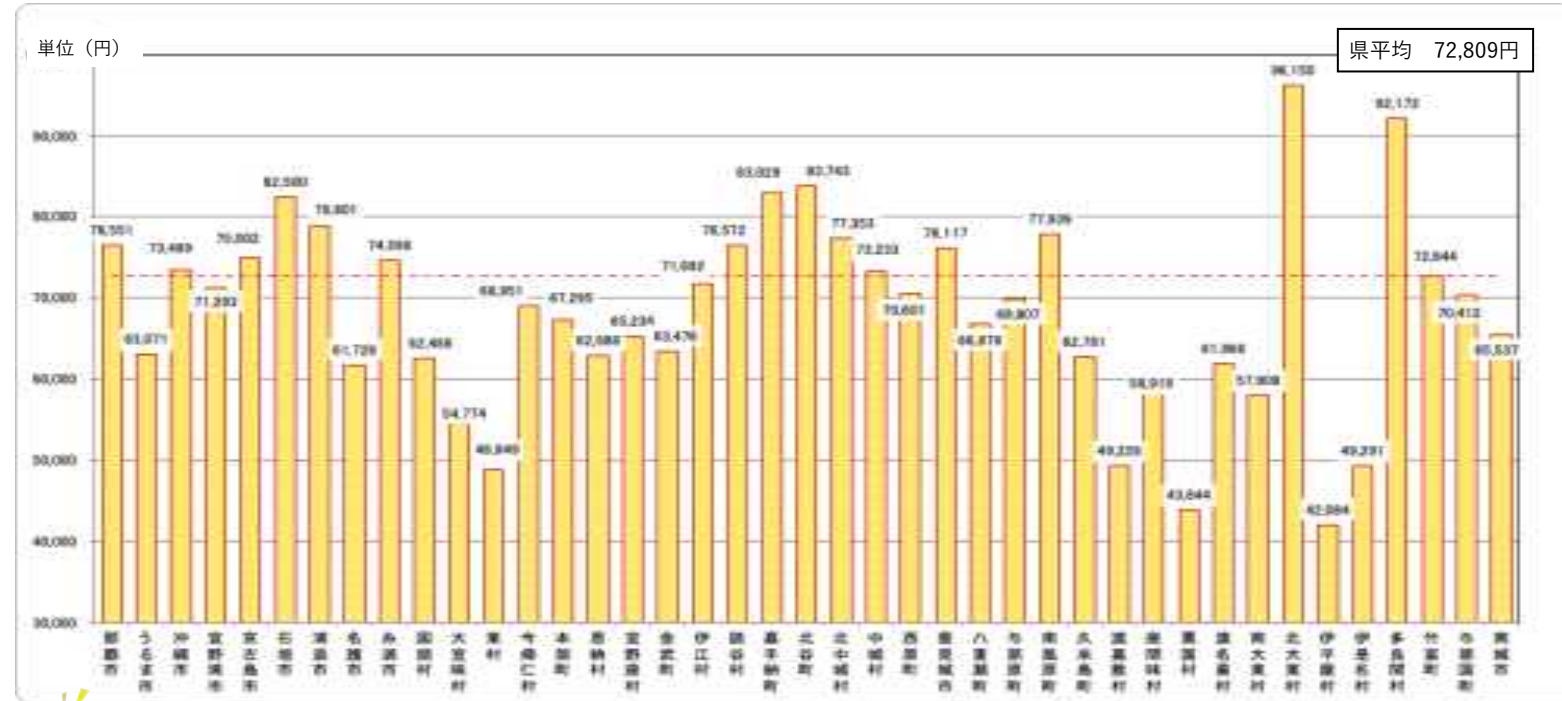


- 一人当たり保険料（税）調定額を都道府県別に見ると、東京都（114,107円）が最も高く、以下、佐賀県（110,567円）、神奈川県（105,374円）となっている一方、調定額の低い県は沖縄県（72,809円）、福島県（79,148円）、鹿児島県（81,667円）となっており、最大で41,298円の差がある。

（出所）厚生労働省保険局「令和元年度国民健康保険事業年報」

図19

一人当たり保険料（税）調定額（令和元年度・県内市町村別）



県平均 72,809円



- 一人当たり保険料（税）調定額を県内市町村別に見ると、北大東村（96,150円）が最も高く、以下、多良間村（92,172円）、北谷町（83,743円）となっている一方、調定額の低い市町村は伊平屋村（42,084円）、粟国村（43,844円）、東村（48,849円）となっており、最大で54,066円の差がある。

（出所）厚生労働省保険局「令和元年度国民健康保険事業年報」

7 一人当たり保険料（税）負担率

● 令和元年度 一人当たり保険料(税)負担率は、

全国 13.9% (※都市部を除く全国平均 15.8%)

九州 17.0% (※福岡県を除く九州平均 17.8%)

本県 14.6%

となっており、本県の一人当たり保険料(税)負担率は、大都市部(東京・埼玉・千葉・神奈川・愛知)を除いた全国平均を1.2ポイント下回っている。(図20)

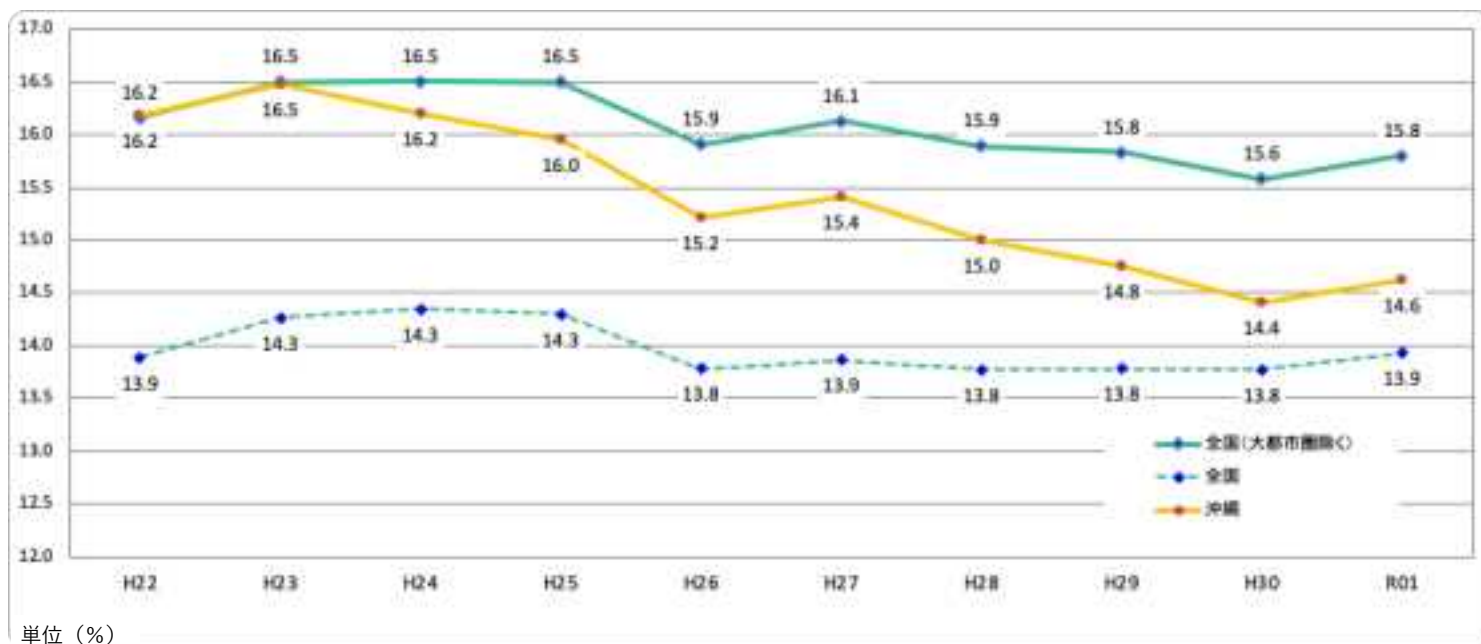
● また、九州各県と比較すると、本県の保険料(税)負担率は九州で最も低くなっている。(図21)

● 県内では、多良間村が22.7% (H30年度：24.0%、H29年度：32.8%、H28年度：32.8%)と最も高く、以下、今帰仁村(20.0%)、与那国町(19.8%)、本部町(19.2%)、糸満市(18.7%)の順となっている。

● 小規模町村においては、医療費の増減の影響を受けやすいことから、一人当たり保険料調定額の増減も大きい。

※一人当たり保険料(税)負担率 = 一人当たり保険料(税)調定額 / 一人当たり課税標準額

図20 一人当たり保険料（税）負担率の推移（平成22年度～令和元年度）

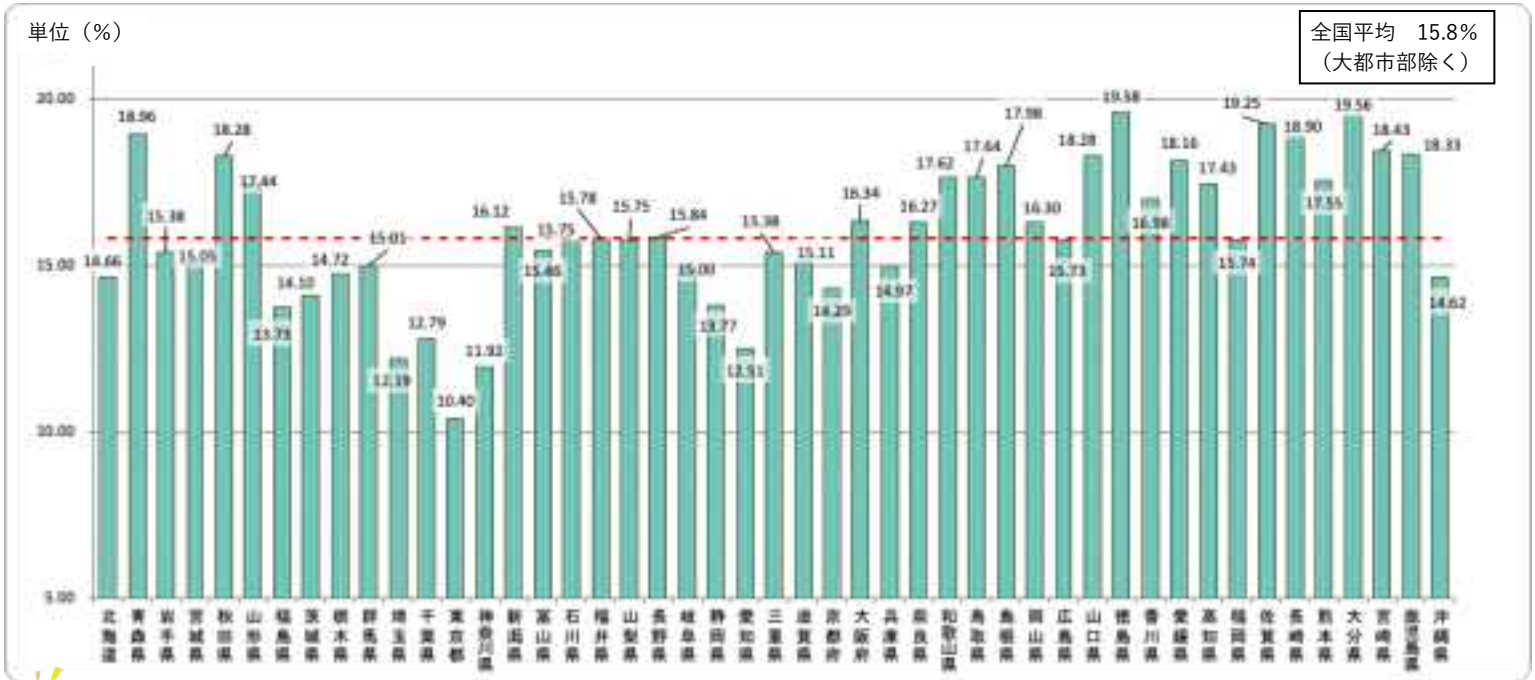


(出所) 厚生労働省保険局「令和元年度国民健康保険事業年報」、 「国民健康保健実態調査」より沖縄県作成

- 一人当たり保険料（税）負担率は、全国が平成26年度以降横ばいで推移しているのに対し、本県は減少傾向にある
- 令和元年度については、全国、全国（大都市圏除く）、本県ともに負担率が上昇した。
※大都市圏（東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県・愛知県）

図21

一人当たり保険料（税）負担率（令和元年度・都道府県別）

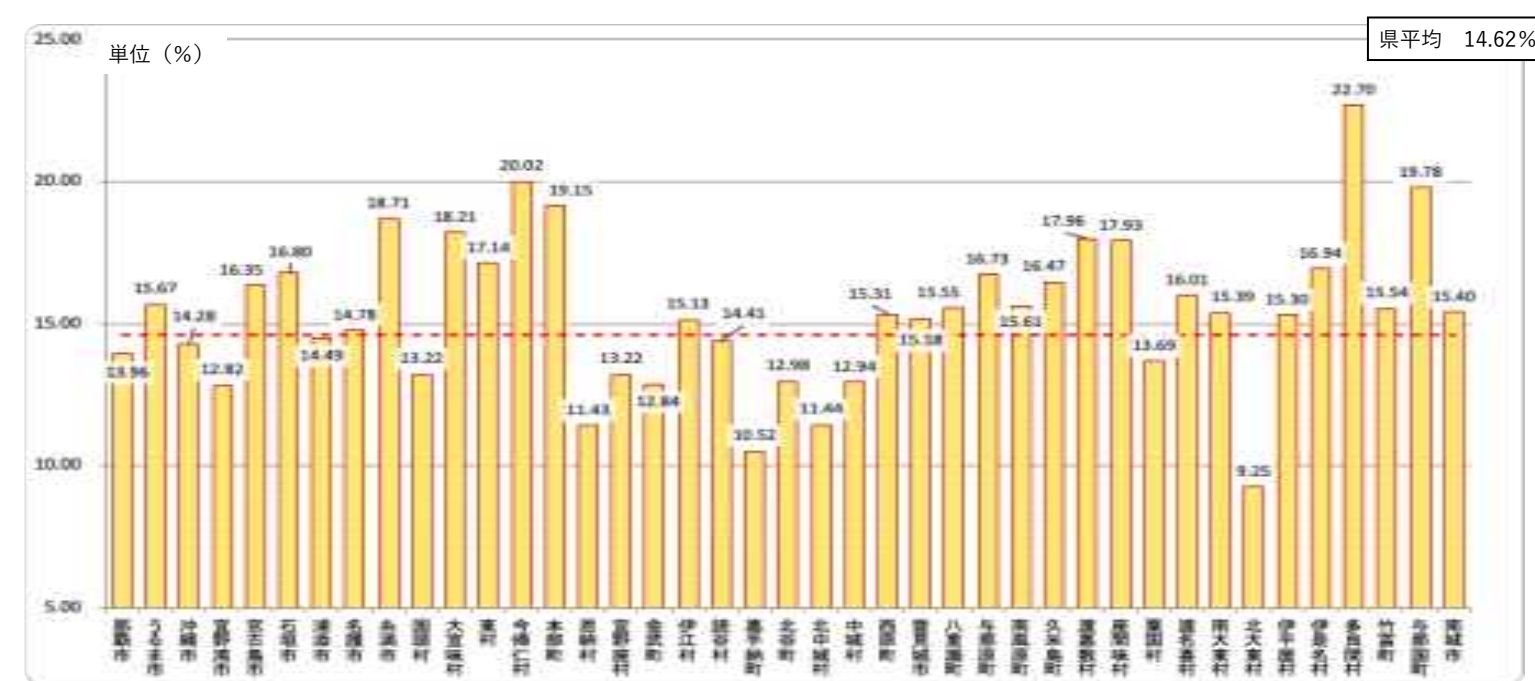


(出所) 厚生労働省保険局「令和元年度国民健康保険事業年報」、「国民健康保健実態調査」より沖縄県作成

- 一人当たり保険料（税）負担率を都道府県別に見ると、徳島県（19.58%）が最も高く、以下、大分県（19.56%）、佐賀県（19.25%）となっている一方、東京都（10.40%）が最も低く、次いで神奈川県（11.92%）、埼玉県（12.19%）となっており、最大で9.18ポイントの差がある。
- 概ね、一人当たり課税標準額が低い都道府県において、一人当たり保険料（税）負担額が高くなる傾向にある。

図22

一人当たり保険料（税）負担率（令和元年度・県内市町村別）



(出所) 厚生労働省保険局「令和元年度国民健康保険事業年報」、「国民健康保健実態調査」より沖縄県作成

- 一人当たり保険料（税）負担率を県内市町村別に見ると、多良間村（22.70%）が最も高く、以下、今帰仁村（20.02%）、与那国町（19.78%）となっている一方、北大東村（9.25%）が最も低く、以下、嘉手納町（10.52%）、恩納村（11.43%）となっており、最大で13.45ポイントの差がある。
- 県内においても、一人当たり課税標準額が低い市町村で、一人当たり保険料（税）負担率が高くなる傾向にある。

8

保険料（税）収納率

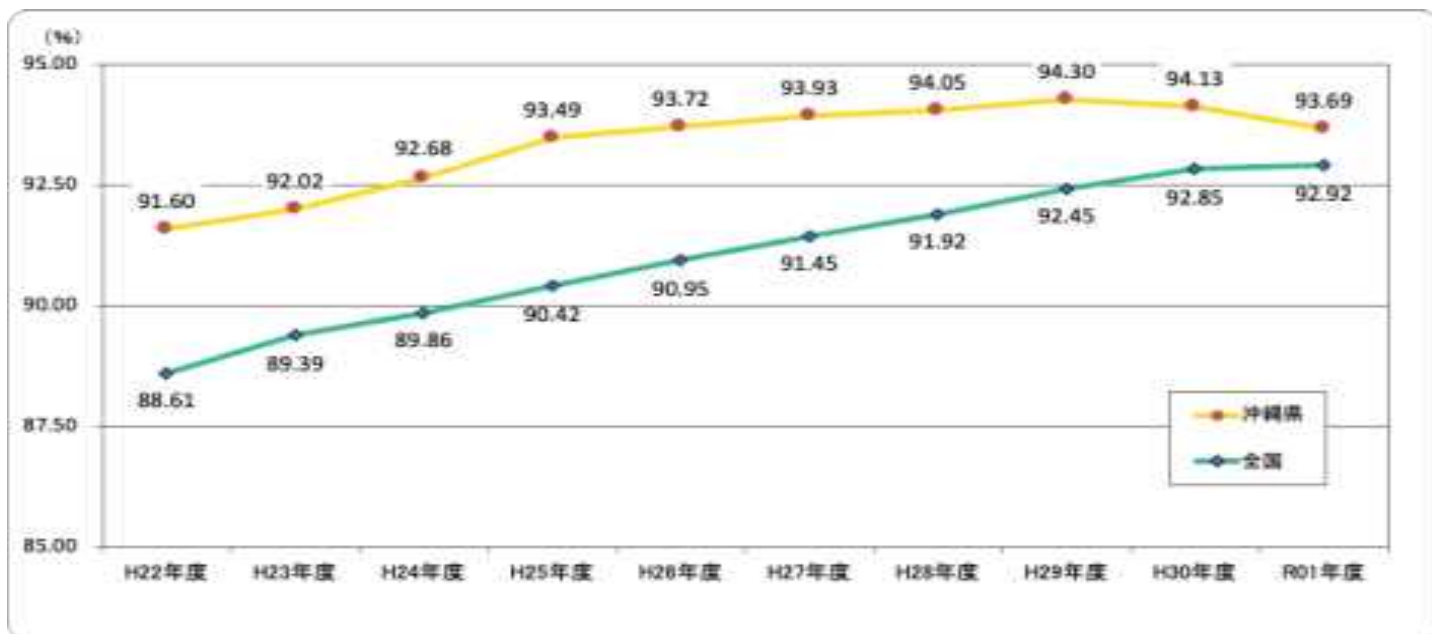
- 令和元年度における保険料（税）収納率(現年分、一般+退職)は
全国が 92.92% 本県 93.69% (全国第29位) となっている。
- 沖縄県の収納率は平成27年度で全国第6位と上位の水準であったが、近年は低下傾向にあり、全国平均並の水準となっている。
- 県内では、北大東村が99.88%で最も高く、以下、渡嘉敷村、粟国村、伊江村、座間味村の順となっている。

※ 収納率 = 保険料(税)収納額 / (保険料(税)調定額 - 居所不明者分調定額)

(出所)厚生労働省保険局「国民健康保険事業年報」

図23

保険料（税）収納率の推移（平成22年度～令和元年度）

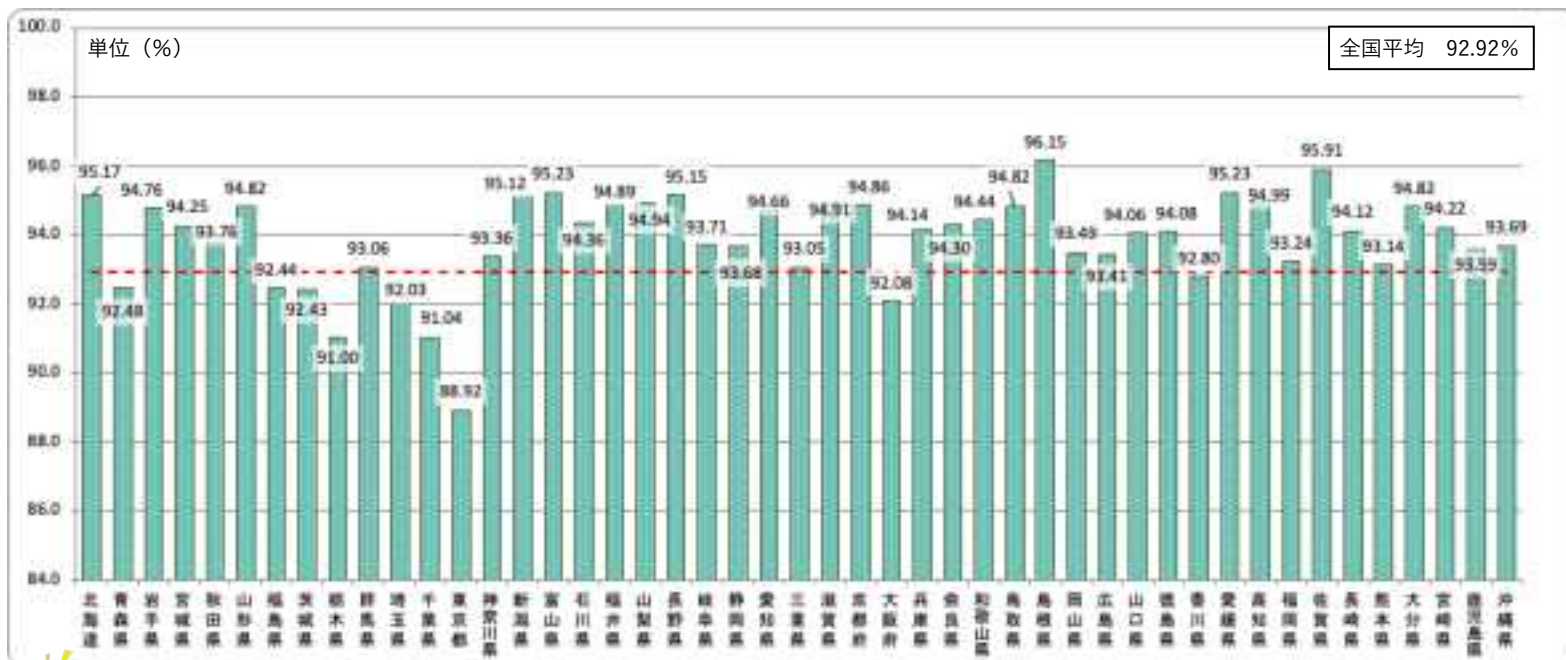


(出所)厚生労働省保険局「国民健康保険事業年報」各年度

- 平成22年度における収納率は本県91.60%、全国88.61%と本県が3ポイント近く高かったが、令和元年度時点でその差は0.77ポイントにまで縮まっている。
- 本県の収納率は平成22年度以降、伸び続けていたが、平成30年度以降、低下傾向にある。

図24

保険料（税）収納率（令和元年度・都道府県別）

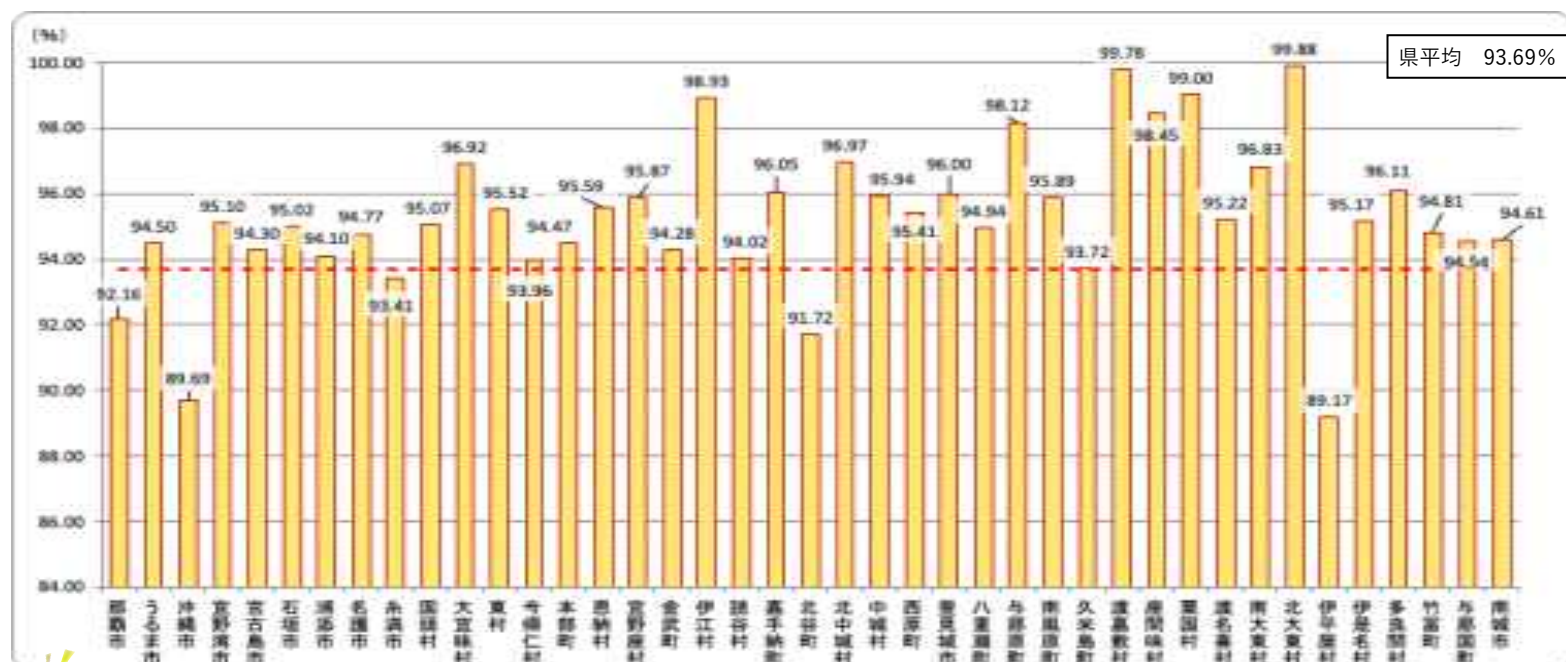


(出所)厚生労働省保険局「国民健康保険事業年報」

- 保険料（税）収納率を都道府県別に見ると、島根県（96.15%）が最も高く、以下、佐賀県（95.91%）、富山県（95.23%）愛媛県（95.23%）となっている一方、東京都（88.92%）が最も低く、次いで栃木県（91.00%）、千葉県（91.04%）となっており、最大で7.23ポイントの差がある。
- 全国平均は92.92%であるが、全国平均以下は9都府県であり多くの県が93%以上となっている。
(※参考 中央値：94.12%)

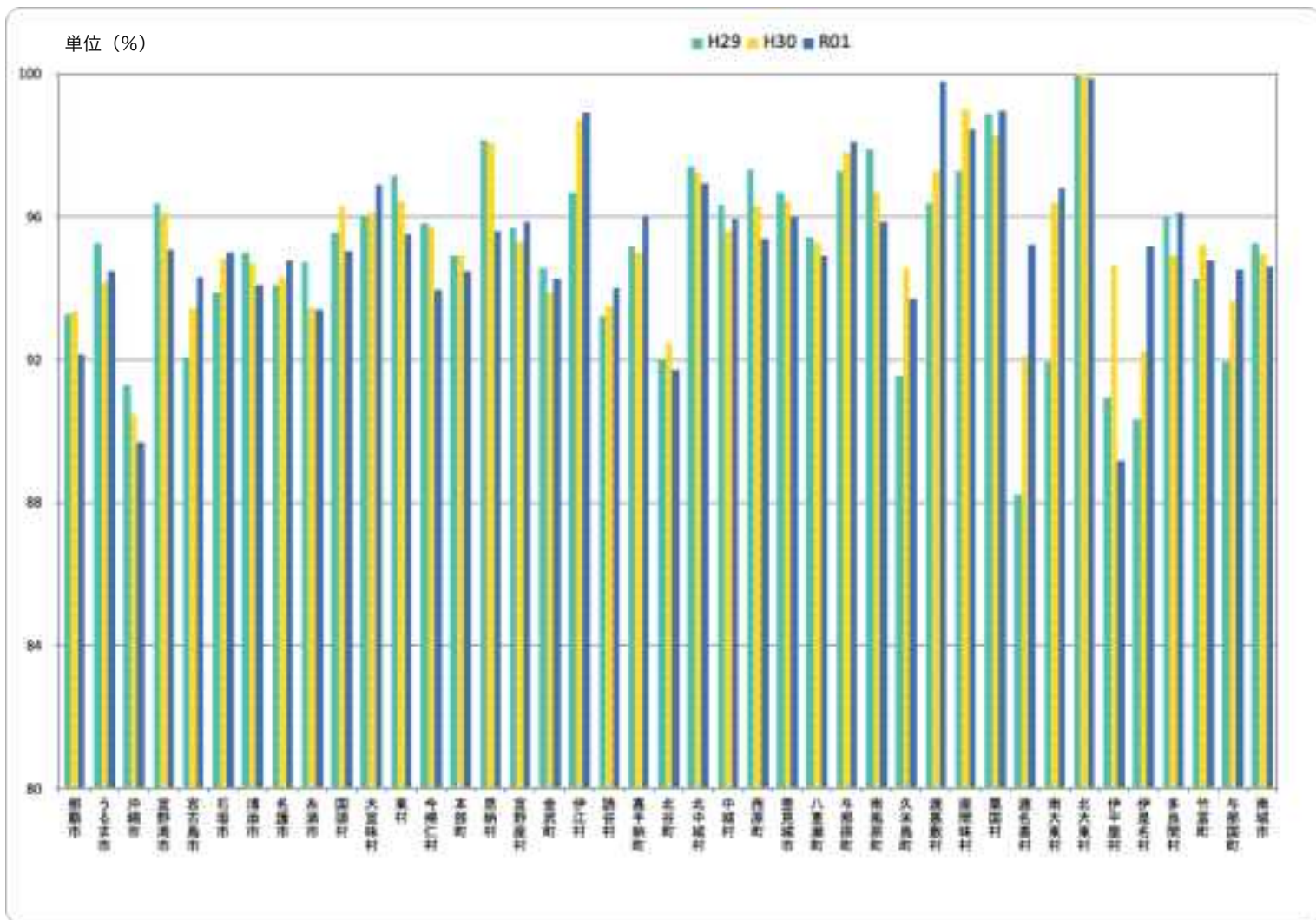
図25

保険料（税）収納率（令和元年度・県内市町村別）



(出所)厚生労働省保険局「国民健康保険事業年報」

- 保険料（税）収納率を県内市町村別に見ると、北大東村（99.88%）が最も高く、以下、渡嘉敷村（99.78%）、粟国村（99.00%）となっている一方、伊平屋村（89.17%）が最も低く、次いで沖縄市（89.69%）、北谷町（91.72%）となっており、最大で 10.71ポイントの差がある。
- 平均値は93.69%、中央値は95.09%となっている。

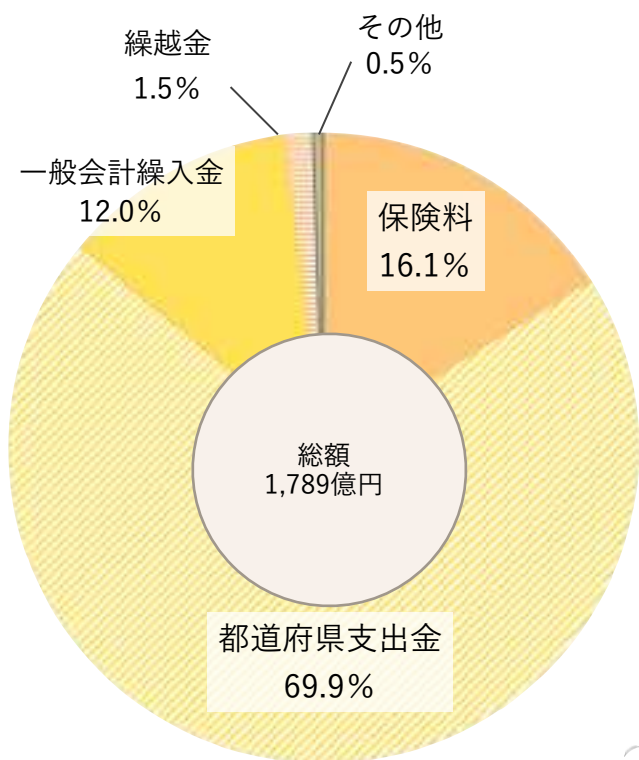


	H29	H30	R01
那覇市	93.28	93.36	92.16
うるま市	95.28	94.17	94.50
沖縄市	91.30	90.45	89.69
宜野湾市	96.40	96.12	95.10
宮古島市	92.07	93.44	94.30
石垣市	93.90	94.83	95.02
浦添市	95.00	94.72	94.10
名護市	94.08	94.32	94.77
糸満市	94.73	93.43	93.41
国頭村	95.56	96.30	95.07
大宜味村	96.01	96.14	96.92
東村	97.17	96.41	95.52
今帰仁村	95.82	95.76	93.96
本部町	94.94	94.94	94.47
恩納村	98.17	98.08	95.59
宜野座村	95.70	95.32	95.87
金武町	94.56	93.87	94.28
伊江村	96.68	98.74	98.93
読谷村	93.23	93.51	94.02
嘉手納町	95.16	94.99	96.05
北谷町	92.01	92.46	91.72

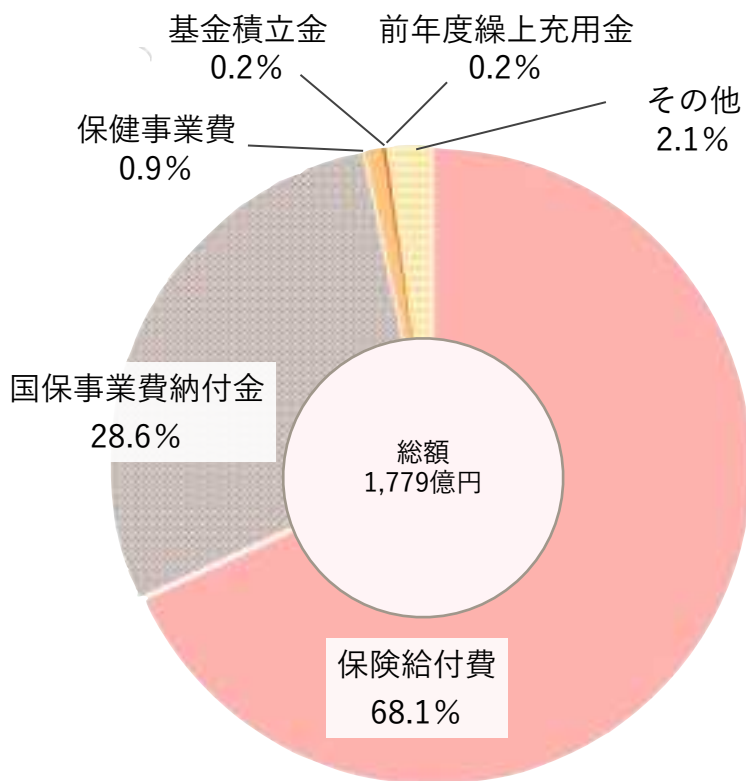
	H29	H30	R01
北中城村	97.42	97.24	96.97
中城村	96.36	95.62	95.94
西原町	97.35	96.29	95.41
豊見城市	96.71	96.41	96.00
八重瀬町	95.42	95.25	94.94
与那原町	97.30	97.80	98.12
南風原町	97.89	96.70	95.89
久米島町	91.57	94.56	93.72
渡嘉敷村	96.40	97.28	99.78
座間味村	97.28	99.02	98.45
粟国村	98.88	98.27	99.00
渡名喜村	88.23	92.13	95.22
南大東村	91.92	96.39	96.83
北大東村	100.00	100.00	99.88
伊平屋村	90.95	94.66	89.17
伊是名村	90.34	92.26	95.17
多良間村	96.04	94.93	96.11
竹富町	94.28	95.23	94.81
与那国町	91.92	93.67	94.54
南城市	95.25	94.97	94.61
県平均	94.30	94.13	93.69

9-1 収支の内訳

図27 市町村特別会計における収支の内訳（令和元年度）

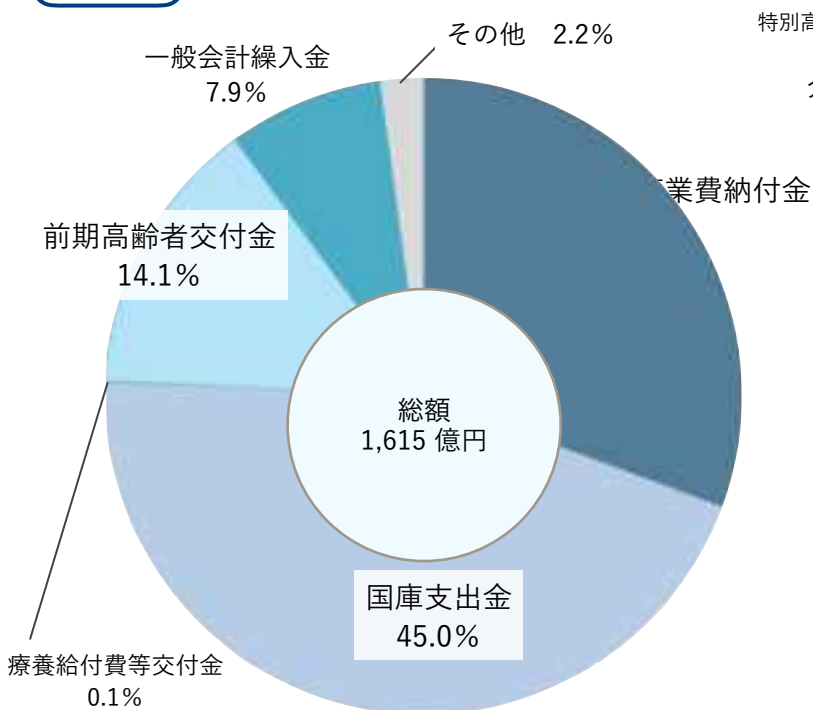


令和元年度の収入内訳

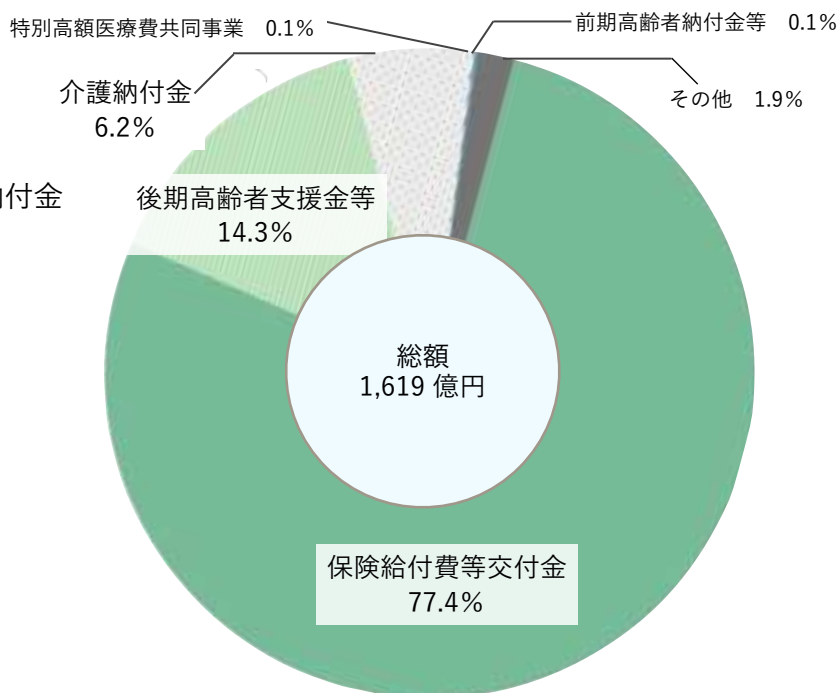


令和元年度の支出内訳

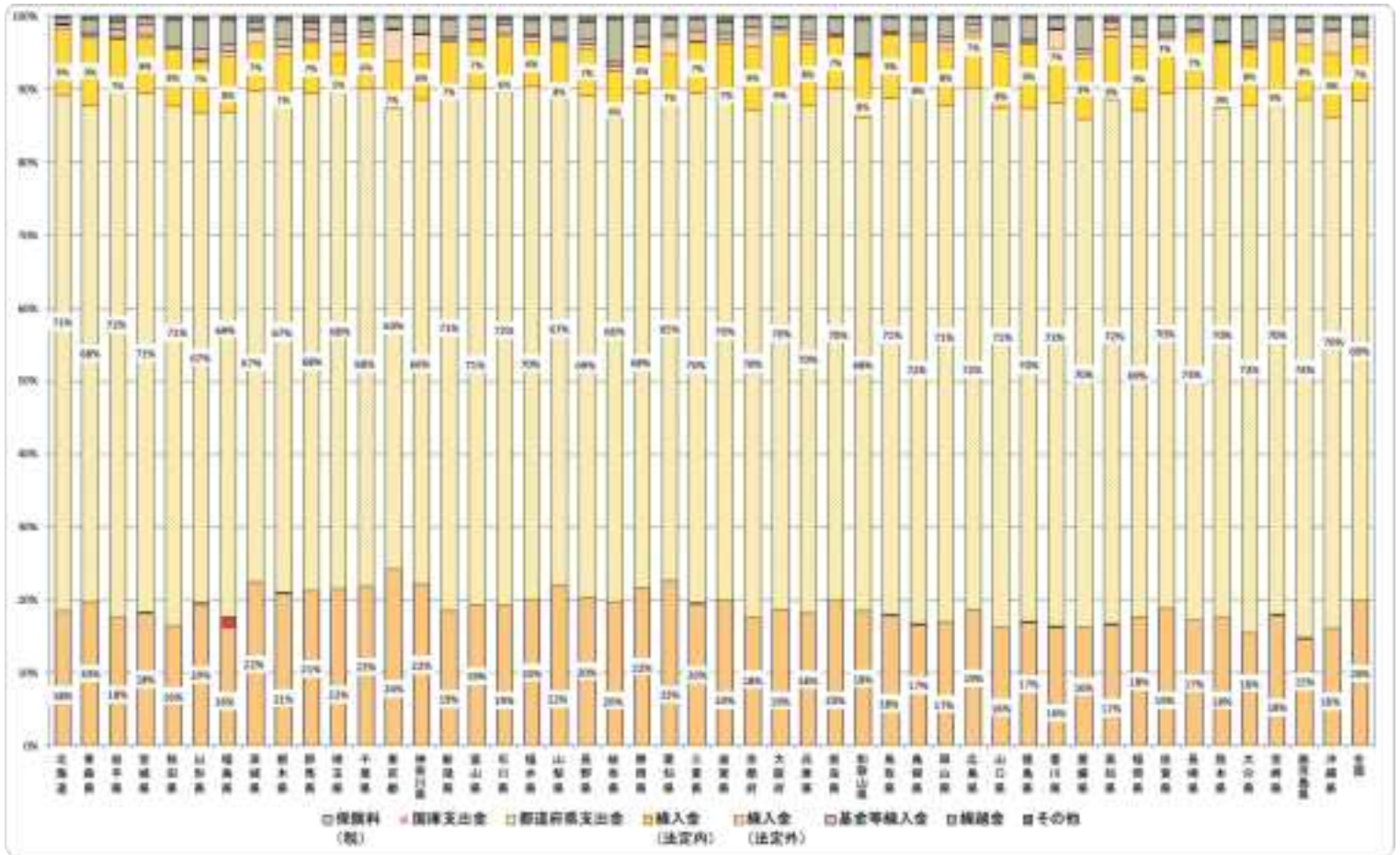
図28 都道府県特別会計における収支の内訳（令和元年度）



令和元年度の収入内訳



令和元年度の支出内訳

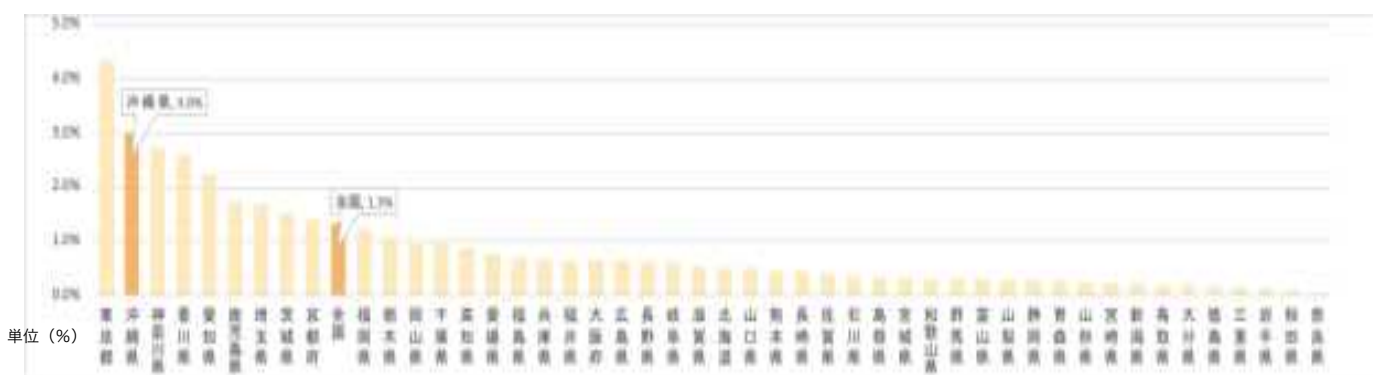


(図30 抜粋) 収入に占める繰入金の割合（都道府県別）

【繰入金（法定内）】



【繰入金（法定外）】

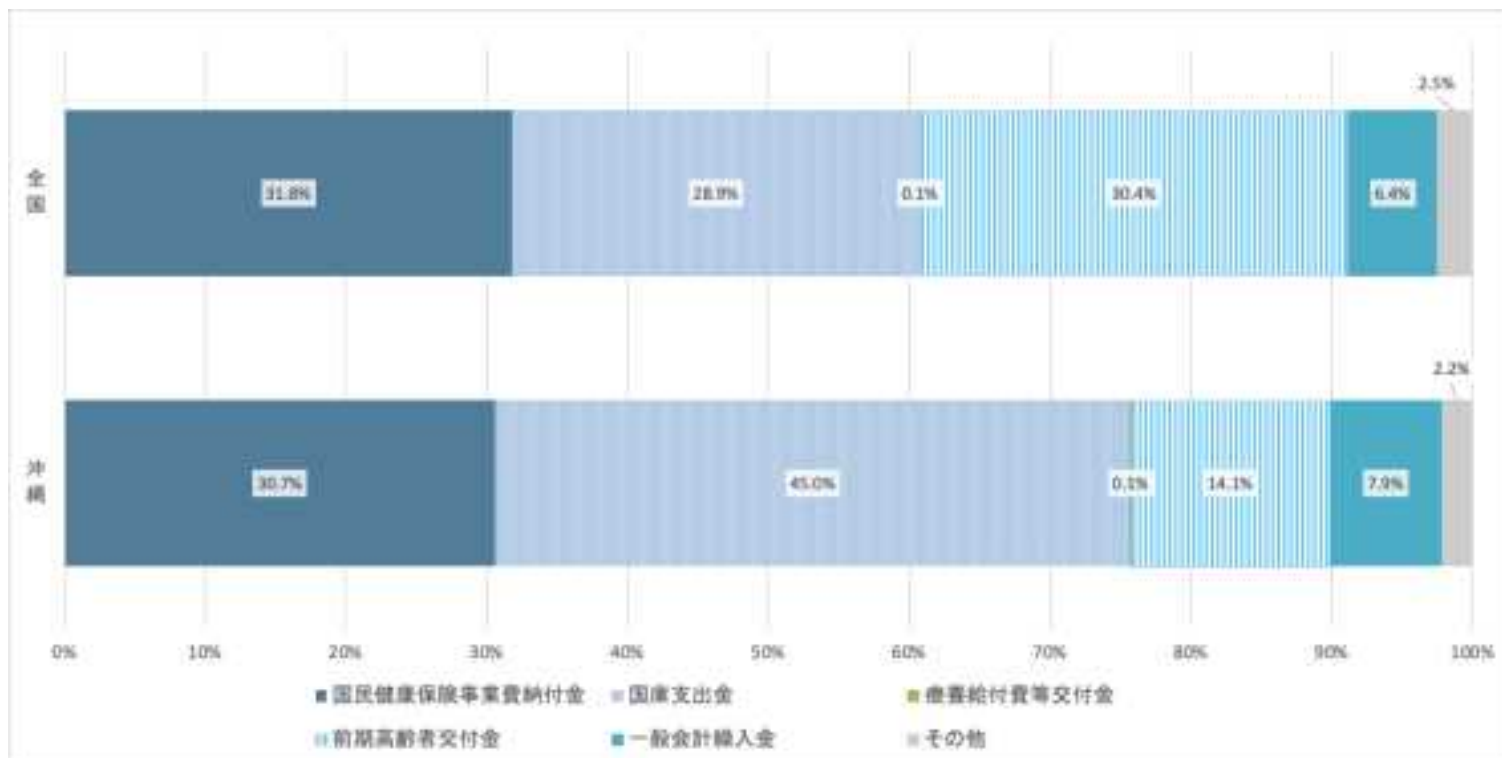


9-3 都道府県特別会計の収入項目別内訳

● 令和元年度の国民健康保険事業特別会計(都道府県)について

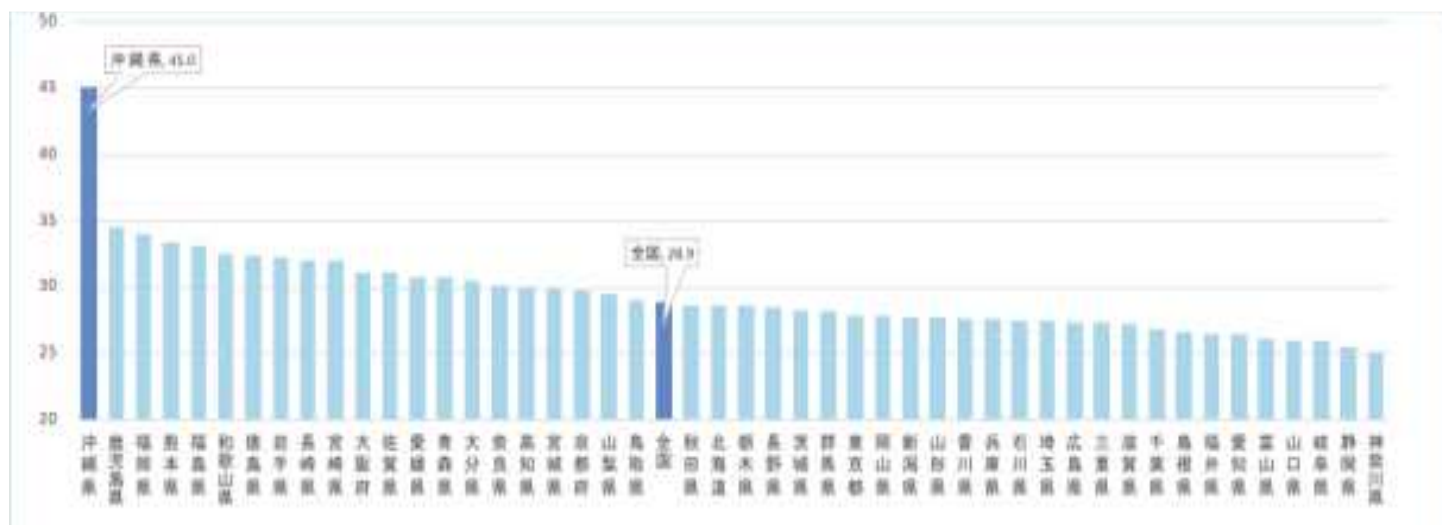
- ◆ 本県の収入に占める国庫支出金の割合は 45.0% で全国で最も高く、全国平均 28.9% と比べて 16.1ポイント 上回っている。国庫支出金の割合が40%を超えているのは本県のみである。(図32、図33)
- ◆ 収入に占める前期高齢者交付金の割合は14.1%で全国で最も低く、全国平均30.4%と比べて16.3ポイント下回っており、46位の東京都(22.1%)と比較しても8ポイント下回っている。(図32、図33)

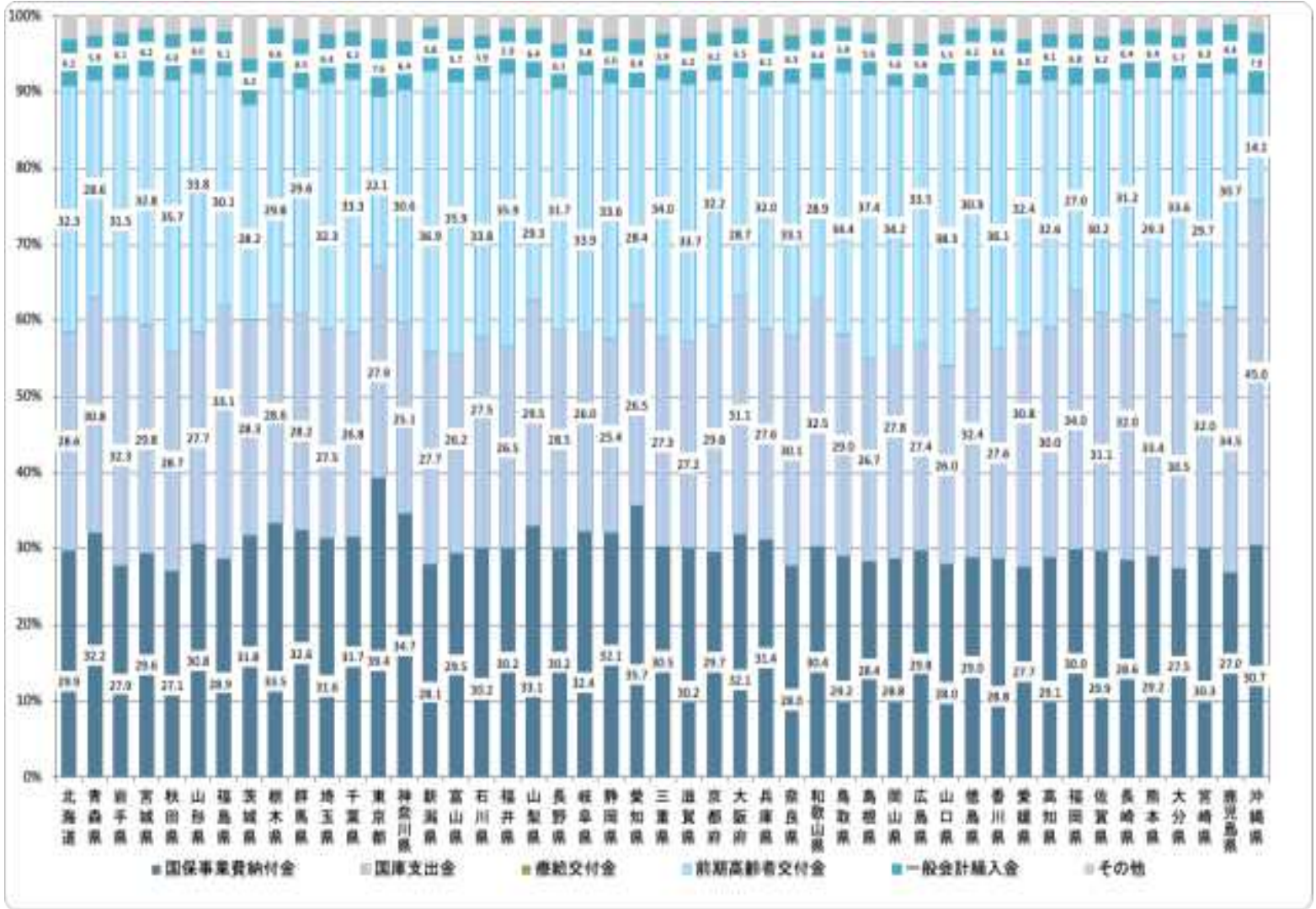
図32 都道府県特別会計における収入項目別内訳 (令和元年度)



(出所)厚生労働省保険局「国民健康保険事業年報」

(図33 抜粋) 収入に占める国庫支出金の割合 (都道府県別)





(出所)厚生労働省保険局「国民健康保険事業年報」

(図33 抜粋) 収入に占める前期高齢者交付金の割合（都道府県別）

